

下水汚泥等の放射能濃度の測定結果をお知らせします  
(その 2)

5 月 18 日(水)に公表しました 3 カ所の流域下水道終末処理場から排出される下水汚泥等の放射能濃度に引き続き、残り 1 カ所の終末処理場から排出される焼却灰等の放射能濃度が判明しましたのでお知らせします。

1 測定結果

処理場名	所在地	測定対象	採取日	測定結果 (Bq/kg)		
				ヨウ素 - 131	セシウム - 134	セシウム - 137
諏訪湖流域下水道 豊田終末処理場	諏訪市 豊田	焼却灰	H23.5.10	不検出	不検出	36
		溶融飛灰	H23.5.13	不検出	1,000	1,010
		煙道スラグ	H23.5.17	不検出	640	730
		溶融スラグ	H23.5.2	不検出	不検出	23

- ・ 測定機関：長野県環境保全研究所
- ・ 測定月日：平成 23 年 5 月 16 日～19 日
- ・ 焼却灰等のこれまでの用途：溶融スラグは建設資材として活用し、その他の焼却灰等は金含有物として売却

2 今後の予定等について

- ・ 現在、放射性物質を含む溶融スラグ等の取扱いに関して基準がないことから、溶融スラグ等の搬出、売却等は当面行わず、処理場内で保管します。
- ・ 溶融スラグ等の保管場所周辺における空間放射線量は、 $0.04 \sim 0.06 \mu S v/hr$  であり (H23.5.9 測定) 現在測定を行っている長野県内の値と同程度でした。

環境部生活排水課流域下水道係  
(課長)横浜寿一 (担当)西尾文雄  
電話：026-235-7320 (直通)  
026-232-0111 (代表) 内線 3383  
FAX：026-235-7399  
E-mail：seikatsuhaisui@pref.nagano.lg.jp